



8 月 号  
平成 30 年 8 月 23 日

# 桜花爛漫

郷土を舞台に 夢に向かい ともに歩む学校

心豊かで  
たくましい荘川っ子

- ・ 考える子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 元気な子

## 白山ユネスコエコパークの中で

校長 水口 悟

### 綿柁開く(わたの はなしべ ひらく 処暑 初候)

綿の実を包む萼が開くころ。種を包む綿毛をほぐし、綿の糸を紡ぎます。(新暦では、およそ八月二十三日～八月二十七日ごろ 日本の七十二候を楽しむより)

### ◇ ひとり歩きできる子の '川遊び'



3回目となるデイキャンプ。特に、昨年度から始めた鮎の友釣り体験に約 20 の参加があったことには驚きました。地域から腕利きの鮎釣り人が集まり、子どもたちにすてきな体験をさせようと次々とおとり鮎を放ちました。次は、釣った鮎の串刺し体験です。「ええか、よう見とれよ」の実演に子どもたちは真剣です。自分で釣り上げ自分で串に刺して焼いた天然の鮎の味。そりゃ最高！食感も味も養殖の鮎では味わえないユネスコエコパークでの格別の味です。支えて頂いた地域の方々、ありがとうございました。

### ◇ ひとり歩きできる子の '白山登山'



中学校から遠く眺める白山連峰。「あの頂きにたどり着けるかな」今年、は、荘川支所の企画により地域住民を対象に白山登山(8月11・12日)を開催しました。今回は、白山市の別当出合から午前峰(標高2702m)を狙うコースです。荘川町は平成28年3月に、高山市内でも唯一白山ユネスコエコパークに登録された地域です。エコパークは、次の3つに分類されています。核心地域( )・緩衝地域( )・移行地域( )

移行地域とは、私たちが生活しているこの荘川町を含む地域であり、今回の登山でめざす御前峰の頂上は、もちろん核心地域です。朝8時30分、別当出合駐車場で約20名の参加者は、2つのグループに分かれ準備運動を始めました。参加者の中には、小学生や中学生・高校生もいて、すばらしいなと思いました。また、家族での参加もあり、これまたすばらしい！の一言です。一番の関心は、やはり天候です。「大自然が織りなす夕陽や御来光。雲海。満点の星・・・、どんな風景を見せてくれるのか・・・是非とも自分の目で見てみたい」休憩をはさむ度に、水を節約しながら飲み飴を口に1つ入れます。白山白川郷トレイルクラブの方は、豊富なガイドの経験からその都度的確なアドバイスをしてくれます。午前11時30分、甚之介避難小屋にて持参した弁当を食べ、いよいよ後半戦に突入です。目標は、午後3時に白山室堂ビジターセンター到着です。下山してくる登山客との挨拶も徐々に減り、「膝が上がりらん」等々、苦しい表情もちらほら見られる時間となります。「諦めたら身体は動かなくなります！」ガイドさんの厳しくも温かいアドバイスも全身に突き刺さるようになってきます。今となれば、登山に限らない重要な言葉として、振り返ります。子どもたち、家族の皆さん、参加者の皆さん、よく登ったね～。美味しかった夕食！すばらしかった夕陽！雲海！山々！やはり、なんやかんやと言っても、自分の足で登らなければ頂上には辿りつけない！諦めたら身体は動かなくなるのです。翌日からの筋肉痛は大変でしたが、職員室で一緒に参加した職員に「初登山、どう？」と聞くと、「はまりました！」の応えが実に爽快でした。

今年度から「前期後期制」がスタートしました。シーズンⅡ 夏：7・8・9月は「挑戦1」の3ヶ月です。夏休みに子どもたちがどんな挑戦をしたのかを聞くのが、とても楽しみです。また、9月よりお祭りが始まります。各地域でのお祭りや村芝居においてもどんな活躍をするのか、私たち職員はとても楽しみにしています。